

やきものの始まり

番号	名称	窯	摘要	時代	法量(cm)
1	縄文大壺		伝新潟県中魚沼郡津南町出土 加曾利E式	縄文中期	高76.0 口径57.5
2	土偶胸部			縄文後期	高10.3 幅9.0
3	土偶坐像		青森県出土	縄文後期一 晩期	高12.2
4	土偶立像		秋田県出土	縄文晩期	高22.5
5	弥生壺			弥生	高24.8 胴径21.8
6	土師器大壺		「備中国小嶋郡桂島出土」の注記 あり	古墳	高69.0 胴径51.2
7	埴輪 鷹狩男子像		重要文化財 群馬県出土	古墳	高76.0

古代の須恵器・施釉陶

8	須恵器礎			古墳一飛鳥	高17.0 口径12.7
9	須恵器円底壺		奈良県御所市小殿町榎の木出土	古墳	高26.5 胴径21.3
10	須恵器提瓶			古墳	高36.8 幅28.2
11	須恵器長頸壺		「岡山県邑久郡長浜村字寒風出 土」の添状あり	奈良	高40.5 胴径26.2
12	二彩碗			奈良	高3.8 径14.0
13	山茶碗		伝猿投山窯址出土	平安一鎌倉	高5.6 径15.8

中世の焼締陶・施釉陶

14	灰釉壺	常滑		鎌倉	高46.9 胴径39.7
15	灰釉壺	丹波		鎌倉	高49.0 胴径43.8
16	灰釉大壺	越前		室町一桃山	高57.2 胴径51.8
17	灰釉壺	伊賀		鎌倉	高25.1 胴径23.4
18	灰釉大壺	伊賀		室町後期	高41.0 胴径33.5
19	檜垣彫文壺	信楽		室町	高34.4 胴径28.5
20	白天目茶碗	瀬戸		室町	高6.8 径12.6
21	鉄釉流掛大徳利	瀬戸		室町	高30.6 胴径21.9

桃山茶陶とその展開

22	四耳葉茶壺	備前		桃山	高40.5 胴径40.0
23	臥牛飾陶硯	備前	「天正貳年八月吉日」銘(1574)	桃山	高4.2×17.5×13.0
24	志野柳文鉢	美濃		桃山	高6.0 径15.5
25	志野盃	美濃		桃山	高3.7 径5.5
26	志野香合	美濃		桃山	高4.0 径6.4
27	織部六角盃	美濃		桃山	高5.8 径6.6
28	織部香合	美濃		桃山	高3.4 径6.2
29	織部梅文香合	美濃		桃山	高5.6 径7.0
30	織部沢瀉文硯	美濃		桃山	高3.6×16.0×14.9
31	黒織部沓茶碗	美濃		桃山	高8.2 径14.8
32	赤織部沓茶碗	美濃	「茶 須緩火炙活火煎(花押)」銘	桃山	高6.7 径13.5
33	赤織部瓜文角皿	美濃		桃山	高6.3 幅22.6
34	織部桐文皿	美濃	5客	桃山一江戸	高4.0 径16.0
35	黒楽茶碗	京都		桃山一江戸	高7.9 径10.0
36	捻輪形水指	丹波		江戸前期	高14.8 径17.8

番号	名称	窯	摘要	時代	法量(cm)
37	斑灰釉壺	唐津(帆柱窯)		桃山	高11.7 径15.7
38	奥高麗茶碗	唐津か	上野焼とする説あり	江戸前期	高9.5 径16.0
39	鉄絵盃	唐津		江戸前期	高6.7 径7.3
40	鉄絵盃	唐津		江戸前期	高3.8 径4.8
41	褐釉桐文香合	唐津		江戸前期	高3.2×6.2×5.6
42	灰釉流掛茶碗	高取(山田窯)	寛永元一7年(1624-1630)	江戸前期	高8.2 径12.9
43	流釉水指	高取(白旗山窯)		江戸前期	高15.4 径15.7

有田磁器とその展開

44	染付山水文大皿	有田(伊万里)	重要文化財	江戸前期	高12.5 径45.4
45	染付草花文大皿	有田(伊万里)		江戸前期	高10.8 径45.4
46	染付唐草文水指	有田(伊万里)		江戸前期	高17.2 口径11.2
47	染付松文徳利	有田(伊万里)		江戸前期	高21.0 径10.4
48	鉄釉千鳥文向付	有田(伊万里)	5客	江戸前期	高3.3 径15.5
49	色絵鷲文深皿	有田(古九谷様式)		江戸前期	高8.2 径29.8
50	色絵山水花鳥文大皿	有田(古九谷様式)		江戸前期	高7.4 径38.8
51	色絵扇面文大皿	有田(古九谷様式)		江戸前期	高7.4 径35.5
52	色絵花籠文八角小鉢	有田(柿右衛門)	「元禄八乙亥 柿」銘(1695)	江戸中期	高5.5 径12.5
53	色絵菊花文八角瓶	有田(柿右衛門)		江戸中期	高27.0 胴径16.0
54	色絵松竹梅文大壺	有田(伊万里)		江戸前期	高43.7 胴径35.4
55	色絵紐文皿	有田(鍋島)		江戸中期	高5.8 径20.0
56	色絵更紗文盃	有田(鍋島)		江戸中期	高6.8 径6.2
57	色絵花鳥文長皿	有田(伊万里)		江戸中期	高2.5×32.0×11.3
58	色絵牡丹文細口瓶	有田(伊万里)		江戸中期	高23.0 幅11.2
59	染付山水文扇形皿	長崎(亀山焼)	5客	江戸後期	(各)高2.4 幅21.4
60	染付山水文八角鉢	長崎(亀山焼)	6客	江戸後期	(各)高3.7 幅14.7

京焼とその展開

61	色絵おしどり香合	京都	野々村仁清作	江戸前期	高5.1 全長6.5
62	色絵竜田川文向付	京都	尾形乾山作 5客	江戸中期	高2.8 径18.0
63	色絵夕顔文茶碗	京都	尾形乾山作	江戸中期	高9.5 口径13.0
64	光琳筆銚絵菊図角皿	京都	尾形乾山作	江戸中期	高2.5 幅21.8
65	光琳筆銚絵山水文四方火入	京都	尾形乾山作 正徳元年(1711)頃	江戸中期	高10.8 幅11.5
66	銚絵柳文重香合	京都	尾形乾山作 「正徳年製」銘(1711-1716)	江戸中期	高5.0×7.0×5.4
67	銚絵染付笹文向付	京都	尾形乾山作 5客	江戸中期	高6.3 口径12.4
68	赤絵龍文柏葉形筆洗	京都	奥田頼川作	江戸後期	高8.3 全長23.8
69	黒地色絵瓜桃文鉢	金沢(春日山窯)	青木木米作 「金城精製」銘 文化4一5年(1807-1808)	江戸後期	高10.8 径24.0
70	祥瑞写染付結文形根付	大津(湖南窯)	永楽保全作 「於湖南陶鈞軒保全造」銘	江戸後期	高1.5 幅4.7
71	色絵扇面文六角鉢	讃岐(理平焼)		江戸中期	高6.0 径31.2
72	色絵烏文鉢	淡路	賀集珉平作	江戸後期	高8.8 径19.8
73	色絵金彩菊草花文茶碗	薩摩		江戸後期	高7.0 径11.2
74	金地加彩菊文菓子鉢	赤膚	奥田木白作	江戸末期一 明治初期	高13.8 胴径14.5

近代京焼

番号	名称	窯	摘要	時代	法量(cm)
75	乾山写色絵桜文合子	京都	初代清風与平作 特別出陳 個人蔵	江戸後期	高10.2 径12.5
76	染付草花文合子	京都	二代清風与平作 特別出陳 個人蔵	明治	高15.0 径22.5
77	色絵龍文蓋付壺	京都	丹山青海作 特別出陳 個人蔵	明治	高35.0 径14.0
78	色絵柳橋文菓子器	京都	初代伊東陶山作 特別出陳 個人蔵	大正	高9.5 径17.5
79	金地色絵鶴文角皿	京都	初代伊東陶山作 特別出陳 個人蔵	大正	高3.4×18.5×18.5
80	手付花器	京都	初代伊東陶山作 特別出陳 個人蔵	大正	高35.0×11.5×12.6
81	黄磁龍文香合	京都	京都市陶磁器試験場作 特別出陳 個人蔵	大正	高3.2 径7.2
82	青磁石露文瓶	京都	七代錦光山宗兵衛作 特別出陳 個人蔵	大正	高33.0 径17.0

展 観 内 容

本展観では、館蔵の縄文時代から江戸時代までの日本のやきものと、特別出陳の近代京焼を展示します。日本のやきものの歴史は、一万年以上前より作られたという縄文土器より始まります。土器の時代が長らく続いた後、古墳時代にはろくろ成形し還元焼成する須恵器が、奈良時代には人工的に釉薬をかける施釉陶が登場します。中世には、優美な施釉陶も作られますが、素朴な焼締陶が多く作られ、日常の雑器として広く用いられました。桃山時代には、茶の湯の隆盛にともない、斬新な茶陶が盛んに作られ、やきものの世界が活性化します。江戸時代には、まず有田において磁器の焼成に成功し、日本各地で様々な陶磁器が生産されました。

特に京焼では、江戸時代前期、野々村仁清によって陶器に上絵具で絵付けする色絵陶器の技術が大成されます。多くの典雅な色絵陶器が作られるとともに、江戸時代後期には磁器の焼成も可能になり、文人趣味的な清雅な器も好まれました。明治維新後には衰退の危機もありましたが、技術やデザインを磨いて進化し、多様な魅力を持つ近代京焼の作品が生み出されました。

日本のやきものの悠久の歴史とあくなき創造にご注目ください。

表紙/No.1 縄文大壺・No.82 青磁石露文瓶

特別講演 2月6日(日) 午後2時・講堂

「京焼って何?これを知っていれば京焼マスター」

京都女子大学准教授 前崎信也氏

日曜美術講座 1月30日(日) 午後2時・講堂

「京焼を彩る琳派の意匠」

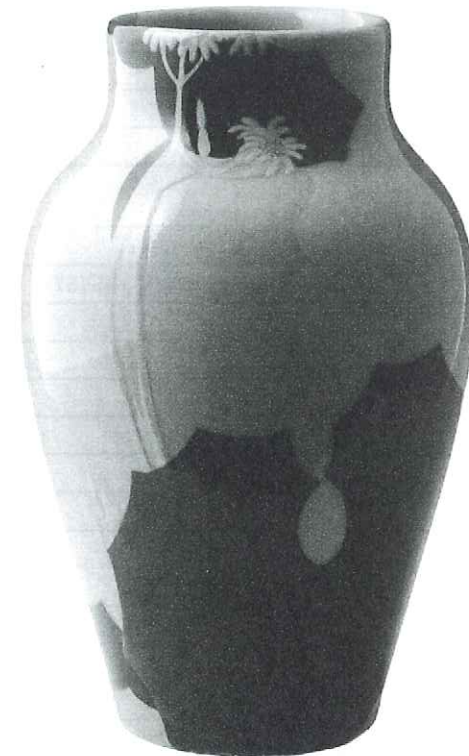
当館学芸部課長 宮崎もも

(ともに参加無料、ただし入館券が必要)

大和文華館 〒631-0034 奈良市学園南1-11-6・近鉄奈良線<学園前駅>下車 TEL(0742)45-0544

FAX(0742)49-2929

《次回展観予定 2022年2月18日(金)~4月3日(日) 東アジア文人の肖像—書画と文房具—》



二〇二二年一月五日(水)〜二月十三日(日)

大和文華館

特別企画展

日本のやきもの — 縄文土器から近代京焼まで —